

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス きずな+

児童発達支援 支援プログラム

作成日

令和6年

12月

5日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の立場に立って「個性」「自由」「希望」すべての行動に愛情を込めて取り組む。 ・一人ひとりの個性を大切に育み、自立に向け次なるステップに発展します。 ・子どもたちの喜びあふれる笑顔を尊重し、思いやりの心を養います。 						
支援方針	利用者の発達の特性を理解し、その特性に合う適切な支援方法をご本人・ご家族と一緒に考えていくとともに、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」5領域を踏まえた支援を行なっています。						
営業時間	平日 (月・火・金)	9時30分から	12時30分まで	送迎実施の有無	あり	なし	(近隣幼稚園、保育園、自宅の送迎は無し)
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健やかで楽しい毎日が送れるように、基本的な生活リズムの定着を促し、ADLの獲得を目指します。 ★手洗い習慣・更衣動作・排泄の自立 ★物を大切にし、持ち物の整理整頓ができるような働きかけ ★集団生活のマナーやルールの習得					
	運動・感覚	自身の身体の使い方を学び、安全で楽しいようにすると共に、持っている運動機能の維持向上を目指して身体をつかつトレーニングを行います。また色々な感覚刺激を体験することで適切な回避方法や感覚の補充を一緒に考えながら支援していきます。 ★感覚あそび ★ビジョントレーニング ★リズム ★運動遊び（鬼ごっこ、風船バレー等）					
	認知・行動	・季節の制作・おりがみ・ビーズ・粘土などを通して、楽しみながら、形・色・手触り・重さ・数など空間認知や概念の形成の発達を促します。 ★形・色遊び ★文字・数字あそび ★創作活動 ★戸外活動・外出（感性の形成）など					
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身につけられるよう支援をします。他の児童との関わりを持てるような活動をし、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるように適宜スタッフが言葉かけを行います。 ★要求動作の獲得や意思の表現方法の選択 ★日常生活に必要な言語の獲得 ★言葉遊び など					
	人間関係 社会性	情緒の安定を図りながら他者との適切な関わり方を活動の中で身につけていけるよう支援します。社会生活に必要なスキルの基礎を育ていけるようにします。 ★ルールやマナーの体験 ★ごっこ遊び ★一人遊び ★共同遊び など					
家族支援	困りごとや心配事等が発生した際は、調整をさせていただき相談、及び面談の機会を設けます。	移行支援	保育園等への移行支援、就学に向けた取り組みなど次のステップを考えながら支援します。				
地域支援・地域連携	事業所内での過ごした様子や出来事については保護者や各関係機関へも情報共有いたします。	職員の質の向上	毎日ミーティングを行い、全職員が利用児童に対し共通の認識をもち支援に当たるよう努めています。				
主な行事等	季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントや制作活動を行っています。例として、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など。						